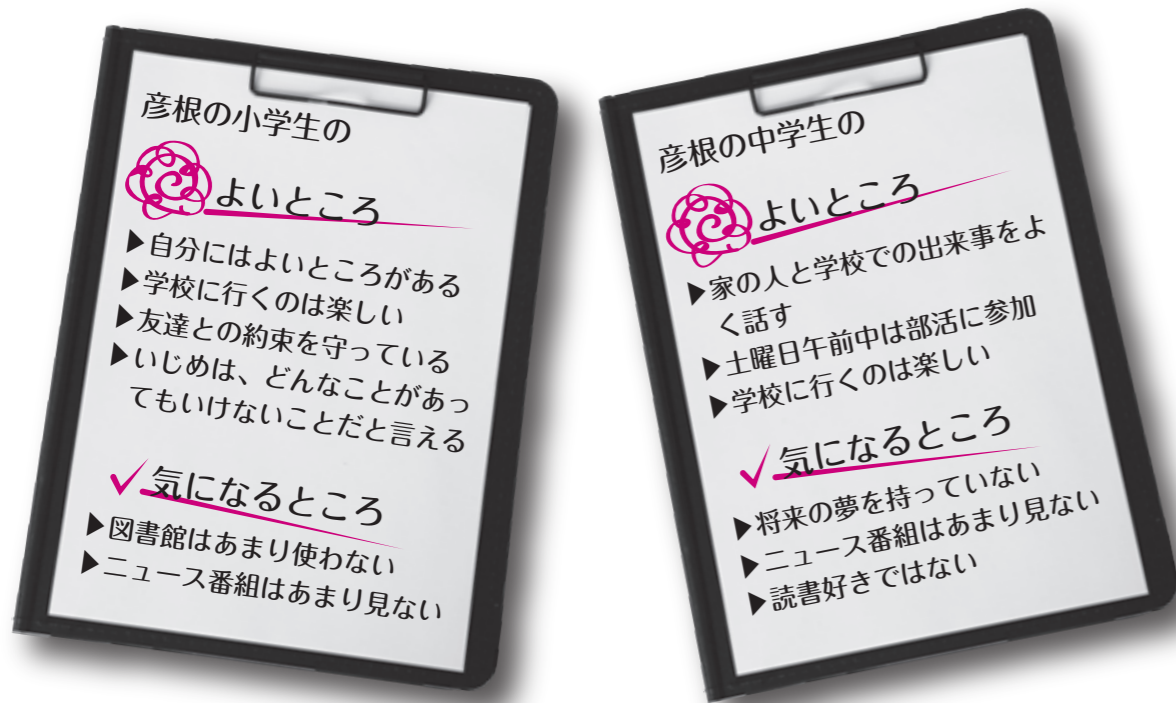


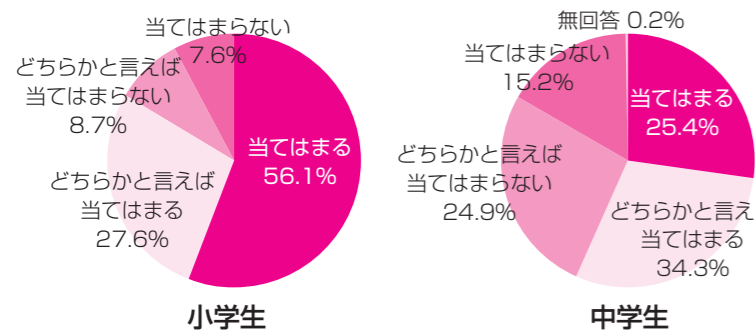
全国平均の結果と比べて、次のように答えている児童・生徒が多くいました。



平成26年度全国学力・学習状況調査から
ひこねっこのよいところ・気になるところ

注目の結果

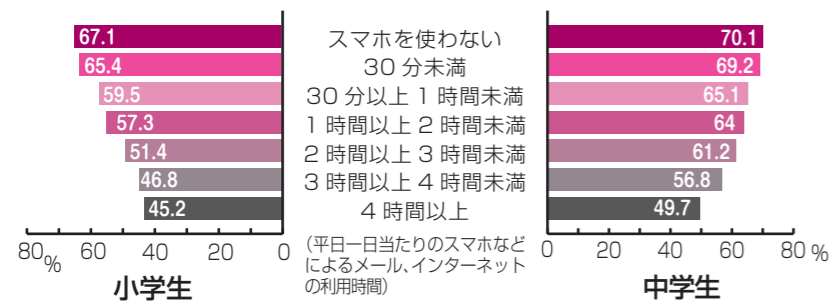
①住んでいる地域の行事に参加していますか



多くの児童・生徒が「地域の行事に参加している」と答えています。

ひこねっこが、地域の中で育まれている様子が現れています。

②スマホ（スマートフォン=多機能携帯電話）の使用時間と学習の正答率（％）



スマートフォンなどの使用時間が長いと、正答率は低くなる関係がみられました。

それぞれの家庭でルールを決めて、よりよい使い方を考えることが大切です。

全国学力・学習状況調査とは

全国的な児童生徒の学力や、学習状況の把握分析と、学校での児童生徒への教科指導の充実や学習状況などの改善に役立てるために、国が行う調査です。平成26年度は、小学校6年生、中学校3年生の全児童・生徒を対象に、国語、算数・数学の知識、

活用に関する調査（学力調査）のほかに、学習意欲、学習方法、学習環境、生活などを聞く調査（質問紙調査）を行いました。なお、詳しい調査結果は、彦根市ホームページに掲載しています。

未来の「ふるさと彦根」を担う人づくり



①地域の自然環境などを学ぶオリエンテーリング
②県外ユネスコスクールとの交流
③地域の高齢者との交流会

近年、日本では出生率の低下などによる少子高齢化が進み、人口が減少しています。彦根市も例外ではありません。国立社会保障・人口問題研究所の推計では、彦根市の0歳から14歳の子どもの総人口に占める割合は、2010年から2040年の30年間で14・8%から11・6%になるといわれています。また、日本を支える15歳から64歳の生産年齢人口の割合も減り続けると見込まれます。そのため、日本のグローバル化・高度情報化がさらに進むことで、産業を始めとした社会構造が大きく変わり、働き方も大きく変わると考えられています。教育にはそのような変化の中を力強く生き抜く力を、子どもにつけることが求められています。今回の特集は、ふるさと彦根を担う人材育成に向けた取り組みを紹介いたします。

問い合わせ先
彦根教育委員会 電話 24・7971
番、FAX 23・9190番



④新学期の学級指導
⑤防災教育
⑥とうもろこしの収穫体験